

最優秀賞

一級建築士事務所 大角雄三設計室

大角 雄三

【作品名】

倉敷の町家

(ゴールデンロップのあかり)

設計 一級建築士事務所 大角雄三設計室

施工 有限会社 住まいの伏見

竣工日 2021年2月18日

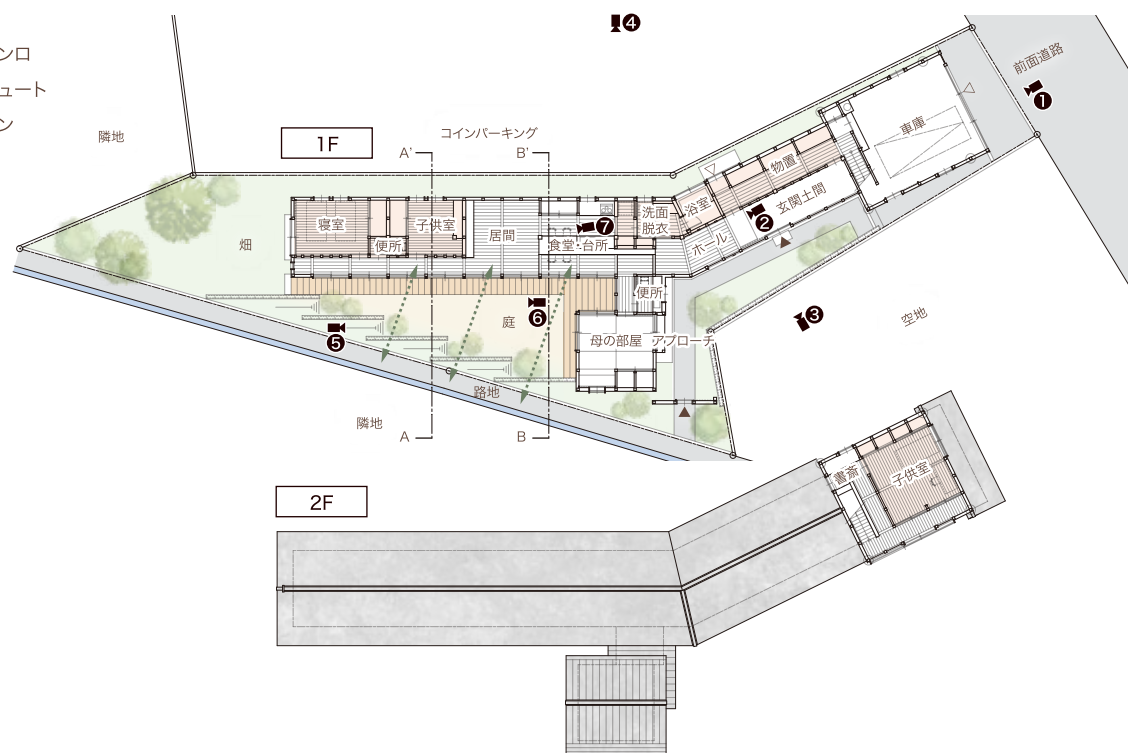
建物概要

建設地	岡山県倉敷市	延床面積	190.99㎡
敷地面積	402.91㎡	構造・規模	木造2階建

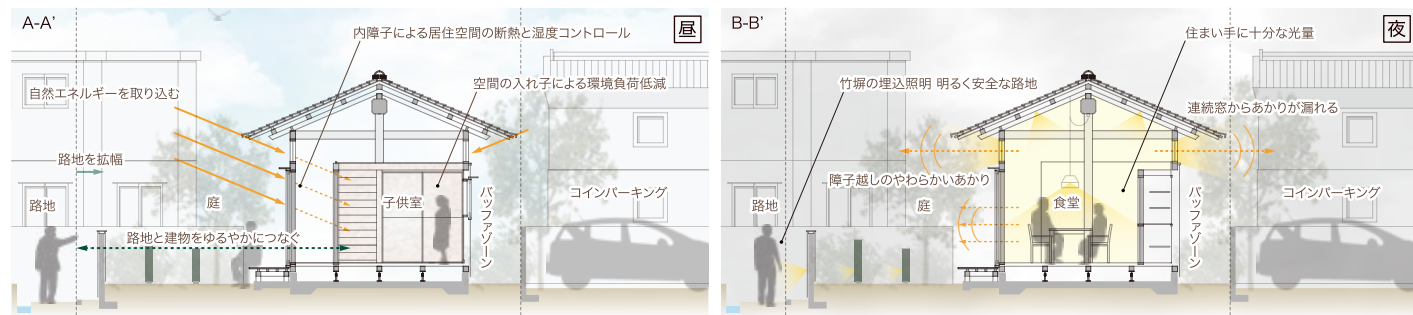
設備面の特記

厨房機器	ガスコンロ
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



断面図



設計コンセプト

倉敷駅前大通りを南に5分ほど歩いた所にある敷地で、古くからの町割りが残るエリア。周辺は伝統的な町家や生活道となっている小さな路地、駅前再開発エリア、古民家が解体されて歯抜けになり空き地やコインパーキングになったもの等、新旧様々なものが混在している。

建物は間口6m、奥行45m、中腹で30度ほど折れ曲がる敷地形状に沿わせた配置とし、「くの字」に曲がったウナギの寝床のような木造二階建ての町家形式をとっている。敷地の南側には道幅の狭い路地があり、この路地を積極的に取り込んでいる。路地/セットバック/竹塀/地盤の高低差/植栽/中庭/縁側/障子・欄間/内部空間といった具合に、緩やかに敷地境界から建物内部をつかず離れずの関係になるようにデザインした。昼間は障子の開閉により、

開放的から閉鎖的な使用が可能で、十分な光量と通風、適度なプライバシーがあり快適に暮らせる。細長い間取りに対し、寝室や水廻りは入れ子状にコンパクトにまとめ、空調負荷を減らしている。

建物の南北両面にはハイサイドの連続窓、東面には倉敷格子や色塗りのガラス小窓を設け、美しいあかりがこぼれる。この家で考えたことは「省エネだけ」でなく、「省エネだけど美しい景観」を生み出すデザインである。あかりを灯す喜びをもう一度真剣に感じること。建築がフィルターとなって光を抽出し、地域全体に光の雫が広がる。

審査委員講評

前面道路側のファサードと南側裏路地の2面性を持つ敷地に対して、伝統的なエッセンスを用いながらも現代的なデザインによってこの場所の持っている可能性を引き出している秀逸な住宅です。近隣との適度な距離感を生む様々な操作がプライバシー性や採光・通風を丁寧に取り込み、まちに開くデザインは住まい手だけでなく、路地を歩く人にとっても心地よい場所性を提供しています。



- 倉敷の町並みに学び、瓦・漆喰・倉敷格子等で構成するファサード。
- 建物は職人の手刻による仕事。特に棟丸太は職人の仕事が光る。くの字に折れ曲がる細長い建物をなぞるように丸太がのび、魅力的な空間をつくっている。夕刻には連続窓の奥に棟丸太が浮かび上がる。
- 駐車場側は上部にのみ開口を設けプライバシーを守る。
- 路地と居住空間をゆるやかに仕切る竹塀は敷地境界から1.0～2.0m程度後退させ、路地にゆとりを生み出し、たのしく歩ける空間に。



- 高さを抑えた竹塀・地盤の高低差や植栽等が、敷地境界を曖昧にし、公私をゆるやかにつなぐ。決して広くない庭でも、閉鎖性を減らす工夫により豊かで快適な居住空間をつくりだす。
- 居間・食堂。自然光を最大限活かせるように、南面に連続する開口を設けている。それらには内障子を設け、居住空間の断熱と湿度コントロールを担う。